

## 1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 井上、松本、堀

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	1人	6人	人	人	人

## 前回の改善計画

- ①引継ぎノートやパソコン内の情報を通じて個別ケースの把握を行う。  
②慣れないご利用者に対して安心して頂けるよう、積極的にコミュニケーションを図る。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

- ・引継ぎノートに頼りすぎず、パソコン内の情報が確認できていないので細かな情報が抜けてしまった。
- ・職員一人一人が関りを多く持ち、コミュニケーションが図れた。
- ・コミュニケーションを多く図ることで、ご利用者の情報収集につながった。

## ◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	3	4			7
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	4			7
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	3	4			7
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	3			7

## できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご利用者とそのご家族の不安の解消に努めている点。
- ・前日の申し送りを確認したり、PCを確認している。
- ・自宅での様子を聞かせていただき通いでの様子もしっかりと伝え、信頼関係づくりに努めている。

## できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・うまく伝えようと思ってもなかなかうまく伝えられない点。
- ・声にならないご利用者の気持ちを汲み取り、必要としている支援をすること。
- ・毎日の申し送り、記録のチェックができていないこともあり把握しきれない点。

## 次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

- ①伝える手段を口頭のみとせず、メモであったり、帳面等を活用し伝えていく。  
②声にならない方に対して、ご本人が何をしようとしているのか観察し、察する力を身につける。  
③毎日の申し送りに関して、引継ぎノートに頼りすぎているため、細かな事に関しては直接口頭で申し送りを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月 23日 ( 14:00～15:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 井上、松本、堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	2人	人	7人

前回の改善計画

①「その人を知る」ということを意識し、積極的にコミュニケーションを図る。  
②「できる事」の把握と共に「したい事」を探りその人の新たな面を発見できるように努める。  
③その方の得意なことを知り、皆で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

・昔のその方の情報だけでなく、今現在の興味、関心を知ることによってその方を知る、新たな一面の発見につなげることができた。  
・いろいろな作業を一緒に行うことで、出来ることの把握に努めることができた。  
・ご利用者の出来る事、出来ない事の共有ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	4		7
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	2		7
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	2		7
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	1	1	7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・実践した内容を口頭で申し送ったり、PCにて共有することで次の対応に活かすことが出来ている。  
・職員間の情報交換がスムーズになったことで次の対応に活かせるようになった。  
・ケアプランに沿った対応ができている。  
・今年度の後半になってようやく個別の目標の実践ができ、評価も行えた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・「本人の目標」という点では言葉にできない方、具体的に伝えることが難しい方については把握しきれていないと思う。  
・すべてのご利用者の「ゴール」の把握は出来ていない。  
・ご利用者が自身の目標に対して前向きになれるような声掛け、対応を行っているがうまくいかない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

①本人の目標、したいことを知るために、積極的にコミュニケーションを図る。  
②知り得た情報を共有、支援内容の共有を図り、目標達成に向けた支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年 1月 6日 ( 14:00~15:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 井上、松本、堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	7人	人	人	7人

前回の改善計画
①職員一人一人が「教わること」「伝えること」を意識する。 ②本人が訴えられた内容など、職員間で情報共有することで、統一したケアにつなげる。 ③その人に対してのケアの方法を皆で共有し確認しあう。
前回の改善計画に対する取組み結果
・理解出来ない事柄について、理解できるまで確認するなどの努力が出来ていなかった。 ・ご利用者一人一人をよく観察し、ケアにつなげることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	4	1	7
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	6			7
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		2	3	1	6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	6			7
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	6			7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・わからない事、支援方法を聞く、伝えることはできている。 ・状況や体調の変化に応じて食事形態を変更したり、シャワー浴、清拭等が適切に行えている。 ・身体状況の変化、気持ちの変化にはその都度気づけていると思う。また、その方がどういう方であるのかの把握もできていると思う。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・本人の思いを汲み取ることが難しい。 ・以前の暮らしについて詳細を把握できていない方もある。 ・常にしんどさを訴えられる方があり、表情の変化等分かりづらい時もある。 ・ご本人の声にならない声の把握ができていない。 ・「きっと～だろうな～」という介護者側の思いにとどまっている。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	①ご利用者の普段の様子を把握し、「いつもと違う」と言うことに気づけるようになる。 ②担当を中心に、ご利用者の気持ちを探り、深くその人を知る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月 23日 ( 14:00~15:00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 山崎、堀、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	1人	5人	人	7人

前回の改善計画
①域の行事を把握する。 ②域の方とのきっかけ作りに努めることができるよう、あいさつ以外に一言足したコミュニケーションを意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・地域から回ってくる回覧板に目を通し、地域の情報を得ることができた。 ・地域の放火訓練などへの参加はできなかった。 ・地域の方に出会った際に、意識して一言足したコミュニケーションを図ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	2		7
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		7			7
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		5	2		7
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	4	2		7

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・実際に携わっている民生委員や社協の支援員の把握、近隣住民との関係性の把握ができている。 ・地域の方々に挨拶したり、コミュニケーションをとるように意識している。 ・地域の方から情報をいただく方もある。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナの影響もあり地域行事、地域の方との交流の場がなかった。 ・地域の行事の把握ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①地域の行事を把握する。(回覧板の確認を行う) ②地域の方とのきっかけ作りに努めることができるよう、あいさつ以外に一言足したコミュニケーションを意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 12月 23日 ( 14:00～15:00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松本、堀、山崎、井上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	2人	5人	人	7人

前回の改善計画
①施設が地域資源の一つとなる様な取り組みを継続的に行う。(内容の検討、実施方法の検討等) ②人の様々な情報交換や、情報共有することで柔軟な支援が行える様にする。 ③本人、ご家族の状況に柔軟に対応できるように情報収集、情報共有を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ご利用者、ご家族の状況に合わせ訪問、通い等が臨機応変に対応ができた。 ・施設が社会資源となるような取り組みができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	5			7
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	3			7
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	5			7
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6			6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食や移送サービス、民間のタクシー会社等必要な方には利用していただいている。</li> <li>・日々の様子から引継ぎノート、PCを利用してながら職員間での情報共有ができています。</li> <li>・ご利用者の日々の買い物、食事に関わることなど地域資源を活用している。</li> <li>・ご利用者の体調、状態に応じ、受診や泊まりの調整が行えた。</li> </ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者と一緒に地域に出向くことはできなかった。</li> <li>・コロナの影響もあり地域行事への参加が難しい状況が続いている。</li> <li>・独居の方が多く、また、ご家族がおられても遠方である方が多く事業所で支えることが多い点。</li> <li>・地域の社会資源も限定的であるため、資源の活用も限定的である点。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①施設が地域資源の一つとなる様な取り組みを継続的に行う。(内容の検討、実施方法の検討等) ②本人、ご家族の状況の報共有を図り、柔軟な対応を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年12月27日(14:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 井上、松本、森

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	2	3		7

前回の改善計画

- ① ケアマネ会議や、運営推進会議等、地域の会議の内容をしっかりと伝達し、情報共有する。
- ② 施設を地域の方に知っていただく、わかっているように、行事や配布物等を通じてアピールする。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ケア会議、回覧で内容を伝達することが出来ているが、回覧を確認していない職員もいた。
- ・コロナウイルスの流行により、各種イベント等への参加ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	2	2		7
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	2	1		7
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		3	1	3	7
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		1	3	3	7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・定期的な町のケアマネ会議等への参加が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・ケアマネ会議での内容の伝達できていない。  
・コロナの影響もあり、外部との交流が出来るような行事計画が出来ず、行事への参加もできなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・回覧や会議録の確認をしっかりとする。
- ・ケアマネ会議の内容等を回覧、ケア会議等を通じて伝達する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 6 日 ( 14:00 ~14:30 )

7. 運営

メンバー 井上、堀、松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3 人	3 人	1 人	7 人

前回の改善計画

- ①ご利用者、ご家族、地域の苦情に関してしっかりと対応する。
- ②地域行事に積極的に参加する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・苦情に対してはしっかりと対応ができています。
- ・地域行事に全く参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		3	2	2	7
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	1		7
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6			7
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		3	1	3	7

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご利用者、ご家族の意見、苦情に対して出来る限りのことを行っている。
- ・地域からの意見、苦情は聞かれなかったが、意見等があれば改善するために努めている。
- ・苦情や意見を聞いた時はすぐに報告し、対応できるように指示を受けていた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・事業所のあり方について、在宅サービスについての勉強会ができていない。
- ・地域の中に入っていけるような企画や行事ができなかった。
- ・地域と協働した取り組みは、新型コロナウイルスの関係で行えなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・苦情や意見に対して責任をもってしっかりと対処する。
- ・在宅サービスの在り方を学ぶ。
- ・コロナが落ち着き、地域行事等が再開すれば積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 1 月 6 日 ( 14:30 ~15:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	3 人	2 人	人	7 人

前回の改善計画

- ① ヒヤリハット報告書の提出を積極的に行い、危険へのリスク回避につなげる。
- ② 研修に参加した職員が内容をしっかりとまとめ、伝える力をつける。
- ③ 事業所内の勉強会を持ち、スキルアップに努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ヒヤリハット報告が少なかった
- ・研修で知り得た情報、知識を参加した職員が伝えきることが出来ていなかった。
- ・感染症対策、身体拘束の勉強会は行えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	3	1		7
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	1	2		7
③	地域連絡会に参加していますか	3	1	1	1	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	2	2		6

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ヒヤリハット報告を行うことはできた。
- ・コロナの影響下ではあったが、オンラインでの会議や研修が実施された。
- ・事業所内での委員会を中心とした勉強会が行われ全員参加ができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ヒヤリハット報告が積極的にできなかった。また、あいまいになっている。
- ・「もしも…」という意識を持ちながら、日々のケア、対応を行う大切さについての勉強会が行われなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ヒヤリハット報告の意味を理解し、報告を積極的に行う。職員同志報告を行うように声を掛け合う。
- ・日々のケア、対応について皆で意見を出し合い、学ぶことで危険リスクを減らしていく。
- ・書籍や、ケア会議等を活用し、勉強会等を行う。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年1月6日 ( 15:25~15:50 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 井上、松本、堀

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	人	人	7人

前回の改善計画

①身体拘束、虐待に関する勉強会を実施する。  
②必要な情報共有を行う際、プライバシーに配慮する。(情報発信の方法の検討等)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・身体拘束、虐待に関する勉強会や対応について学び、ケア向上に向けて取り組んでいる。
- ・情報共有の際、プライバシーに配慮できていない場面が多くあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3	2	2		7
②	虐待は行われていない	2	3	1		6
③	プライバシーが守られている		4	2		6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	3	1	1	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている		5	2		7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・申し送りの際に、声の大きさや個人名を出さないように配慮するよう意識している。
- ・身体拘束、虐待については委員会もあり、ケア会議を通じて勉強会が行えた。
- ・成年後見制度の対象者が今現在はいないが、対象の方がおられれば活用することができる。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ご利用者の前で、業務の申し送りを行う際、他ご利用者のことが聞こえてしまう場面が何度もあった。
- ・身体拘束や虐待は行っていないが、表現や言い回しによっては虐待にあたるかもしれない。勉強会を行うことでそのように気づいた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・申し送りの際、他ご利用者から離れて申し送りを行ったり、引継ぎノートをうまく活用する。
- ・身体拘束、虐待防止の勉強会や取組みを継続的に行う。
- ・努めて丁寧な声掛けを行う。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	丹後福祉会	代表者	草本修明	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>「網野町の町の中心部に立地している」という特徴を活かして、買い物や市役所の手続き、敬老会、自治活動等の地域行事への参加等についても応援させていただきます。</li> <li>それぞれのご利用者の、介護についてのご意向を大切にして、個別の企画を立案、実行することで、画一的なケアではなく、個別のケアを大切にしています。</li> </ul>
事業所名	ふれあいホームあみの	管理者	山本章代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標を具体的にあげ、それに沿って取り組んでいきます。</li> <li>職員の意見がしっかりと反映できるように意見交換を行います。</li> </ul>	<p>改善計画に沿った取組みを、着実に実施することができました。</p> <p>但し、連携や協労の項目等で、評価者の視点が職員の立場によって、ズレている面があり、目標を再確認する必要がありました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールに従い、運営しておられるのがわかり、良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価の各項目に、具体的に目標設定をしました。それに沿って実行します。</li> <li>平成29年度は、年度のはじめに、自己評価の目標設定内容を、運営推進会議のメンバーにもご覧いただいた上、評価を受けるようにする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者の居場所になるような心地よい環境づくりを行っています。</li> </ul>	<p>地域の方への挨拶や、かかわりを大切にしてきました。</p> <p>また、近所に畑づくりをすることで、地域の皆様に、活動の見える環境づくりをしてきました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいホームあみの職員と出会うと、必ず挨拶をする。努力しておられる。</li> <li>涼やかスポットを毎年されていて、続けてもらいたい。</li> <li>夏祭りや行事等があり、職員や利用者を見る機会のあることが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用者のプライバシー保護、居心地の良さに配慮した工夫をします。</li> <li>夏祭り等、地域の方と一緒に楽しんでいただく行事を開催することにより、地域に開かれた施設運営をします。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に出向くことばかりではなく、事業所の存在を地域に知っていただくきっかけを作っていく。(行事への参加、取組みの実施等)</li> </ul>	<p>挨拶や、夏祭り等の交流行事を通じて、関わりを大切にしてきました。</p> <p>また、地域の行事にも参加していただき、交流を図ることができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者とひとくくりについても、年代が違うと、交流しにくい面もあります。桃山でやっているようなサロンをこちらでもして、これからは、同年齢の人同士が集まる機会を作る機会があっても良いと感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サロンのような交流行事について、具体的にどのようなことができるか考えていきます。</li> <li>引き続き、市役所で行われる地域行事や、文化祭などに継続して参加し、地域の方との関わりや事業所の周知につ</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 夏祭り等の交流行事はこれからしてもらったら良い。具体的に何か手伝わせてもらうようなことがあれば言ってもらいたい。</li> </ul>	なげていきたい。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議等を行うことで地域の高齢者の実態把握を行う。</li> <li>・地域の方への挨拶、交流をすることで互いに関係性を深め、地域で生活されているご利用者様の支援につなげていきます。</li> </ul>	<p>運営推進会議等で、ご様子をお伝えする事はできています。</p> <p>しかし、個別のケースの援助内容について、連携できていない。課題が残る部分です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人暮らしの人は、入退院や、転居される等の情報がわからないことが多い。様々な面で、情報共有をしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 個別の支援内容について検討するサービス担当者会議等、特にご協力をいただく必要のあるケースは、地域の民生委員の皆様にご参加をいただくようにする。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議等で自事業所の取り組みや、報告等わかりやすく伝える。</li> <li>・地域の民生委員さんや、包括支援センターの職員と一緒に地域の心配な方に対して対策を検討したり、情報共有を図ります。</li> </ul>	<p>運営推進会議は、非常に円滑に実施できています。地域の状況や、施設の現状を常にご承知いただく機会にもなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現場の様子が良くわかり、地域の事も伝える事が出来て良いと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運営推進会議を通じて、引き続き情報交換をする。また、サービス付高齢者住宅、ほほえみの運営状況等についても、積極的に情報開示をし、ご意見をいただき、運営に活かします。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の消防訓練、年1回の水害避難訓練を行い、職員の防災意識を高めていきます。</li> </ul>	<p>年2回の火災消防訓練の実施は確実に実施することができました。秋季訓練のご様子は、運営推進会議の皆さまに、ご覧いただきました。</p> <p>平成29年度は、水害対策に関するマニュアルも作成しました。来年度、訓練実施を計画したいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 消防訓練の見学をさせてもらい、避難誘導時に職員の声が小さいことや、ご利用者ももっと参加してもらい、実施した方が良いことをお伝えしました。改善して実施してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成29年度は、小栓川の氾濫を想定した、水害避難訓練の実施を計画します。</li> <li>● 平成29年度は、地域の防災避難訓練についても職員が参加をし、相互協力を大切にします。</li> <li>● 消防訓練は、前回の反省点を踏まえて実施します。</li> </ul>